

平成 19 年 5 月 10 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹  
コード番号 1605 東証第 1 部  
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 宮本 修平  
電話番号 03-5448-0205

インドネシア共和国ジャワ海東部 東スパンジャン鉱区への参画について

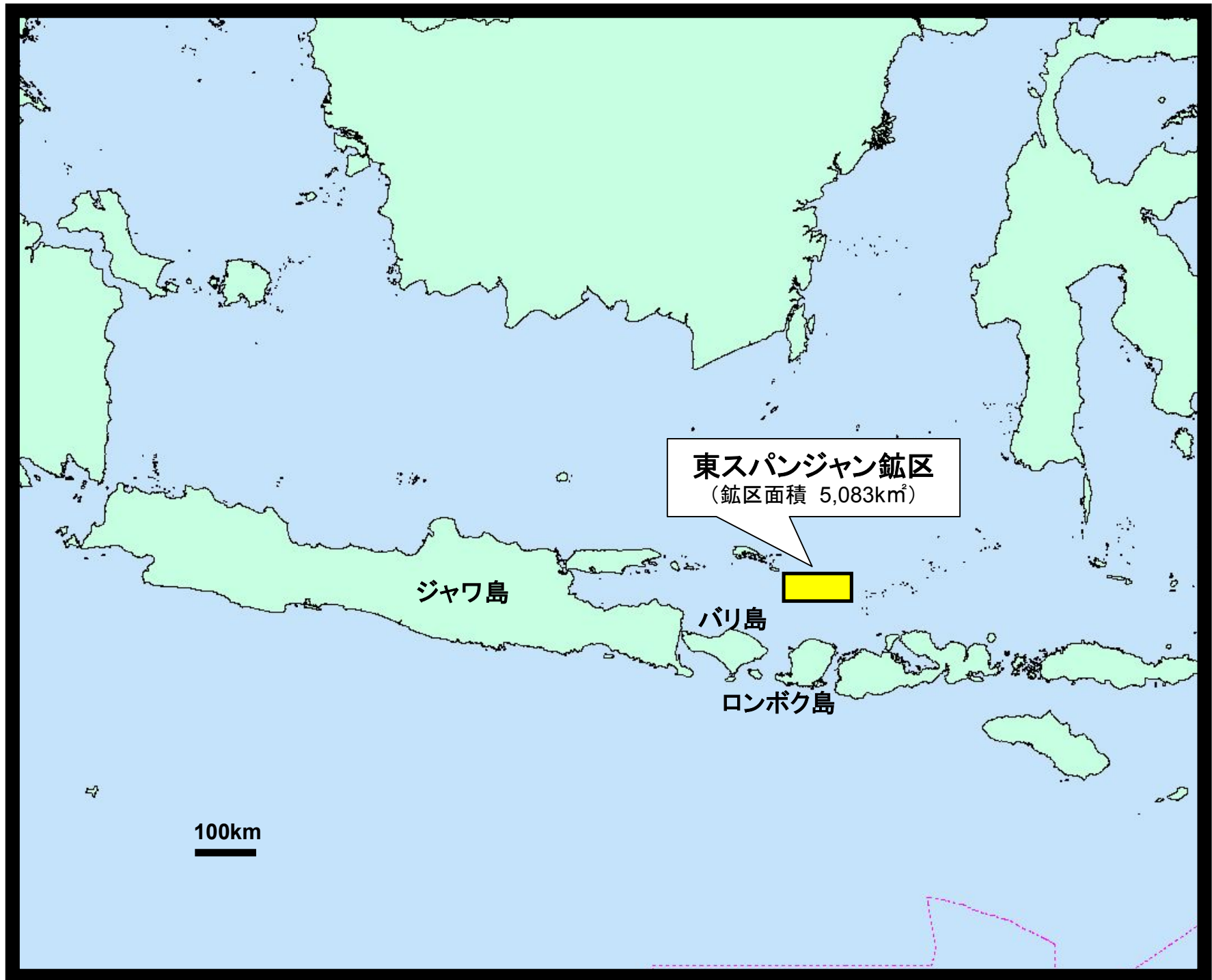
国際石油開発帝石ホールディングス株式会社は、子会社インペックス北東ジャワ沖石油株式会社を通じ、TOTAL 社からインドネシアジャワ海東部 東スパンジャン鉱区の権益 22%を取得することについて、インドネシア政府当局の承認を得ましたので、お知らせいたします。

東スパンジャン鉱区は、2004 年 12 月に、EASCO 社（インドネシア企業）が生産分与契約により取得した鉱区であり、ジャワ海東部の水深 300～1,400mの海域に位置し、面積は 5,083km<sup>2</sup>となっております。今回の譲渡により、本鉱区の権益保有比率は、EASCO 社 51%（オペレーター）、TOTAL 社 27%、インペックス北東ジャワ沖石油株 22%となります。

本鉱区では、過去の作業により原油の存在が確認されており、原油の発見の期待できる有望な構造があると評価し、本年末までに 1 坑の試掘井の掘削を予定しております。

当社グループは、インドネシアにおいて、東カリマンタンマハカム沖鉱区で 50%の権益を保持する原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業、100%権益を保有するオペレーターとしてチモール海沖合マセラ鉱区で発見したアバディガス田の探鉱・評価作業等の事業を実施しております。今回の東スパンジャン鉱区の取得により、当社グループのインドネシアでの原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業は、一層拡大してまいります。

以上



東スパンジャン鉱区  
(鉱区面積 5,083km<sup>2</sup>)

ジャワ島

バリ島

ロンボク島

100km